

## 原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和元年10月25日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：児嶋長官官房総務課長

### <本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○児嶋総務課長 報道官の児嶋です。

ちょっと風邪をひいていまして、少し声が聞きにくいかもしれません。お許しください。頑張っしてしゃべります。

それでは、お手元の広報日程に従いまして、補足説明をさせていただきます。

2番、審査会合の関係でございます。

1枚おめくりいただきまして、2ページから参ります。

一番上から行きます。10月29日火曜日、(4) 第789回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは2件ございます。

一つ目が、中国電力・島根原子力発電所2号機の設置変更許可に関しまして、内部溢水についての7月25日の会合のコメント回答を受けるものです。

もう一つが、日本原電・東海第二発電所の特定重大事故等対処施設の設置変更許可に関しまして、9月24日に申請があったことから、その申請の概要について説明を受けるものです。この東海第二のほうは山中委員と石渡委員の合同の対応となります。

続きまして、その下、10月30日水曜日、(7) 第1回発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障対策等に関する検討チーム会合、こちらは10月2日の原子力規制委員会におきまして、検討チームの設置について、委員会の了承が得られました。それを踏まえまして、今回、新たな規制要求として考えられる内容を事業者側に伝えて、意見を聴取するものです。

続きまして、(8) 第310回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは日本原子力研究開発機構（JAEA）の大洗研究所廃棄物管理施設、この設計・工事方法認可に関しまして、火災報知設備の追加とセル負圧指示調節計の更新に関する過去数回の会合のコメント回答を受けます。

もう一つ、設計・工事方法認可の申請内容と事業許可の内容の整合性についても、事業者と確認を行うものです。

続きまして、その下、(9) 第2回発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障対策等に関する検討チーム会合、これも先ほどの(7)と同じく、10月2日の

原子力規制委員会です承を得た検討チームの会合です。ただ、セーフティとセキュリティのインターフェースに関して検討が行われるため、核物質防護に関する情報を扱いますので、非公開となります。

1枚おめくりいただきまして、3ページ目、これも一番上から参ります。

10月31日木曜日、(10)は議題調整中であります。

(11)第311回核燃料施設等の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは日本原燃・再処理施設の事業変更許可に関し、9月25日や10月16日の会合のコメント回答を受けるものです。

続きまして、11月1日金曜日、(12)第791回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは関西電力・美浜発電所3号機の特定重大事故等対処施設の設置変更許可に関し、8月30日と9月13日の会合のコメント回答を受けるものです。

最後となります。(13)第792回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合、こちらは東北電力・東通原子力発電所1号機の設置変更許可に関しまして、敷地周辺断層の追加調査を現在行っております。その調査の状況について、事業者から説明を受けるものとなります。

私からは以上となります。

#### <質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますでしょうか。よろしいですか。それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—